

サイドバイサイド



【みんなですすめよう男女共同参画】

DVのない社会に！

(夫婦間や恋人からの暴力に
悩んでいませんか?)

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは？

夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力行為をドメスティック・バイオレンス (DV) と言います。多くの場合女性が被害者となっています。

【加害者】 … 年齢・学歴・職業に無関係、社会や近所では「温厚な人」と思われている人もいます。妻(女性)は夫(男性)の所有物であるという考えで、女性を力で支配しようとします。

【暴力】 … 身体に対する暴力・精神的暴力・性的暴力・経済的暴力・子どもを利用した暴力

【被害者】 … 経済的に加害者に頼らざるを得ない状況、「立ち直ってくれるかもしれない」という期待、暴力をふるわれても逃げられなくなってしまう。

※ 暴力はふるうほうが悪いのです。

被害者の方は、暴力に耐え続ける生活の中で、身も心も傷つき、あきらめにも似た無力感や孤立感を深めています。どんな理由があっても、暴力をふるわれていいという人はいません。悩んでいるのはあなただけではありません。相談することにより、あなたの中で問題が整理されます。秘密は守ります、相談料は無料で保育もあります。

★【女性相談・育児相談】 広報最終ページをご覧ください。

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課☎990-9011

企画財政課☎991-1815



今月は「松伏町小・中学校人権作文集 - 第10集 -」の作品の中から、小学校4年生の作品を紹介します。

大切なお友だち

わたしには、友だちがたくさんいます。三年生のとき、わたしは、クラスのみんなと友だちになるということをきめていました。四年生でも、そのゆめをかなえたいと思っています。今クラスの中で親しくしている人は、OさんとMさんです。ときどきTさんもいっしょに遊ぶけれど、ほとんどは、三人で遊んでいます。でも時々ケンカもします。

この前の朝、わたしが学校につくと、MさんとOさんが楽しそうに話しながら手紙を交かんしていました。わたしは、なんだろうと思って話かけようとしたのですが、できませんでした。つくえの中にしまわれた手紙のことが気になってしかたありません。「わたしにも見せて。」と、ひとこと言えばよいのにそれが言えず、とても、いやな気もちになりました。「もう二人とはなかよくできないのかな。」「わたしがなにか悪かったのかな。」など、いろいろ考えて暗い気もちになりました。

一時間目が終わったとき「さっきはごめんね。こんどはさゆにもお手紙あげるね。」と、話かけてくれました。だからわたしも、「こっちこそごめんね。」と、言ってあやまりました。一日もしないうちになかなおりができました。だからわたしは、ホッとして、安心しました。

わたしは、お友だちが大すきです。時々、「お友だちがいっぱいいてよかったな。」と思います。どうしてかというと、友だちがいなかったら、今ごろ一人ぼっちになっていたからです。だから、わたしは、友だちが大すきです。

これからは、もっと自分からすすんで楽しくすごせるように、どんどん話をしたり、一人ぼっちのお友だちがいたら、声をかけてあげます。そして、みんなが楽しい学校やクラスになるようにしていきたいと思います。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。